

2020年10月26日

コークス事業の構造改革について

三菱ケミカル株式会社

三菱ケミカル株式会社（本社：東京都千代田区、社長：和賀 昌之、以下「当社」）は、鉄鋼業界の構造変化に伴い、当社の香川事業所（所在地：香川県坂出市）における高炉向けコークス事業について、最適な生産および販売体制に向けて以下の構造改革を実施いたします。

1. 競争力優位な生産体制への集約

内容：現在、香川事業所で有するコークス炉 323 門を 250 門に縮小し、最適な運転体制に移行することで競争力強化を図ります。

時期：2021年3月末までに順次停止予定

2. 輸出版売拡大のための出荷設備増強

内容：輸出版売体制強化のため、現在 1 ラインのみの輸出出荷設備を 2 ラインへと増強します。

時期：2022年3月末稼働予定

当社のコークスは、その品質の均一性・安定性の高さから『SAKAIDE COKE』として海外の顧客からも高く評価されています。当社は今後とも、高品質なコークスの安定供給に努めるとともに、今回の構造改革により、事業のグローバル展開を推進することで競争力を強化してまいります。

以上

お問合せ先

株式会社三菱ケミカルホールディングス

広報・IR室 TEL 03-6748-7140